医療安全推進委員会

1 目的

本院内における医療安全対策を企画･実施し、医療安全に関する事項を各委員会と連携を図り、推進するとともに周知徹底する。

2 構成メンバー

委 員 長：尾頭(副院長) 2025年５月まで／
武田(脳神経外科医長) 2025年６月～
副委員長：新村(医療安全管理室室長)
書　　記：照屋(看護部副主任) 2025年６月まで／
小野寺(医療機器安全管理責任者) 2025年７月～
メンバー：新村(医療安全管理室室長)
小野寺(臨床工学科技士長　※2025年7月まで)／
(医療機器安全管理責任者　※2025年８月～専従)
田村(薬剤部課長)(医薬品安全管理責任者)
谷口(事務長) 2025年9月まで／
小関(事務長) 2025年10月～
宇都宮(看護部長) 2025年６月まで
長谷川(看護部長代行) 2025年７月～
村山(W3A看護課長)　澤田(入退院支援室看護課長)
北島(E5看護課長)　福岡(外来･救急外来看護係長)
茶畑(E6看護係長)　石黒(ICU看護係長)
今橋(W5看護係長)　小西(W3B看護係長)
石塚(SCU看護係長)
奥川(中央手術室・中央材料室看護係長)
坂本(看護主任(老人看護専門看護師))
田口(救急救命科係長)　三輪(臨床検査科技師長)
和田(臨床工学科技士長) 2025年８月～
梅野(画像診断部主任)
鈴木(リハビリテーション科技士長)
菊地(栄養科次長)　和田(医療情報システム室課長)
海野(診療録管理室係長)　石田(総務課係長)
乾(まごころ課係長)　森(経理課課長)
森永(医事課課長) 2025年９月まで／
一瀬(医事課係長) 2025年10月～
笹子(ドクターズクラーク係長)
小寺(物流管理課主任)
黒川(地域連携室課長) 2025年２月まで／
針間(地域医療連携室係長) 2025年３月～
江頭(研修医)　渡部(研修医)
近藤(研修医)　館林(研修医)

3 開催日時

毎月第１火曜日　16：00～(2025年７月まで)
毎月第２火曜日　16：00～(2025年８月～2026年３月まで)
毎月第２火曜日　14：00～(2026年４月～)

4 活動内容

●年間活動

・院内外の医療安全に関わる情報の発信と共有
・各部署からのインシデント・アクシデント事例報告および再発防止策の検討と周知
・リスクマネジメント通信の発行：医療安全に関する情報や医療機器不具合情報などを随時発行
・インシデントレポートの集計、報告と注意喚起
・医療安全管理室によるラウンドの報告
・医療安全講習会の企画立案と実施
・医療安全強化月間各部署取り組みへの働きかけ
・身体抑制最小化に向けた取り組み
・各種マニュアルの見直し

今年度のインシデント・アクシデントレポートの報告件数は、総数3,389件と昨年度より850件の減少となった。昨年度報告体制を変更したことも影響していると思われるが、後半は月別報告件数が昨年度同様のペースに戻ってきており、次年度は報告件数の増加が期待できると考える。報告内容については、レベル0～1の報告が例年同様に約90%近くを占めており、軽微なことでも積極的に報告しようとする姿勢は継続されていると思われる。引き続き報告する文化が根付くよう働きかけていきたい。内容別では、今年度上位3項目は薬剤関連、検査、ドレーン・チューブトラブルであった。転倒・転落は７%に留まっているが、レベル3bの事案が2事例発生しており、影響度を下げる取り組みを強化していく必要があると感じている。看護部リンクナースとも連携を図りながら、対応を進めていきたいと考えている。

身体抑制適正化への取り組みに対しては、身体抑制最小化委員会と連携を図り、体制整備も含め取り組みを強化していく予定である。報告部署の割合としては、昨年同様看護部からの報告が全体の67%と一番多かったが、事務部門やコメディカルからの報告も増加してきている。医局からの報告件数も昨年度より倍増しており、次年度も引き続き働きかけていこうと考えている。

医療安全ラウンドでは、各部署の５Ｓの取り組みを確認することができ、作業環境の改善につながっていると考える。次年度も医療安全ラウンドを継続し、安全な環境の整備に努めていきたい。

医療安全講習会については、出席率100%に近い数字が維持できている。次年度も100%の出席率を目指し、医療安全管理室で研修の企画・運営を検討し進めていこうと考えている。

「心理的安全性の高いチーム」作りに関しては、スタッフ間の良好なコミュニケーションの確立、意見が言いやすい環境作りを目指し、医療安全管理部門と各部門が連携を図り、病院全体で取り組んでいければと考えている。